

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年6月28日(2007.6.28)

【公開番号】特開2005-334232(P2005-334232A)

【公開日】平成17年12月8日(2005.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2005-048

【出願番号】特願2004-156093(P2004-156093)

【国際特許分類】

**A 6 1 F 9/007 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 F 9/00 5 0 1

A 6 1 F 9/00 5 0 5

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月11日(2007.5.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A) 眼科装置本体(12、212)と光源ユニット(14、114)を有し、

(B) 前記眼科装置本体(12、212)が、

照明光を被検眼(E)に照明する照明手段(16)と、

前記被検眼(E)からの反射光を観察する観察手段(18、218)とを有し、

(C) 前記光源ユニット(14、114)が、

所定の波長を有する治療光を発生する光源手段(40、140)と、

前記光源手段(40、140)から発生した治療光を前記被検眼(E)の所望部位に導光する導光手段(42、142)と、

前記光源手段(40、140)および前記導光手段(42、142)を内蔵する筐体(52)とを有し、

(D) 前記筐体(52)内において、前記光源手段(40、140)から直接前記導光手段(42、142)に治療光が入光する眼科装置。

【請求項2】

(A) 眼科装置本体(12、212)と光源ユニット(14、114)を有し、

(B) 前記眼科装置本体(12、212)が、

照明光を被検眼(E)に照明する照明手段(16)と、

前記被検眼(E)からの反射光を観察する観察手段(18、218)とを有し、

(C) 前記光源ユニット(14、114)が、前記眼科装置本体(12、212)に対して着脱自在に構成されており、

(D) 前記筐体(52)内において、前記光源手段(40、140)から直接前記導光手段(42、142)に治療光が入光する眼科装置。

【請求項3】

前記光源ユニット(14、114)と前記眼科装置本体(12、212)との接合部(56、256)を、バヨネット式に構成して着脱自在にしたことを特徴とする請求項2に記載の眼科装置。

【請求項4】

前記導光手段(42、142)が、レンズ群(46、48、50)を有し、前記光源手

段(40、140)から発生した治療光が、レンズ群(46、48、50)に直接入光することを特徴とする請求項1～3のいずれか1項に記載の眼科装置。